

2023年度 第2回企画・調査部会においていただいた委員意見

○高齢者虐待（資料3-1 計画p18）

事業者による虐待だけが扱われている。家族介護者による虐待を予防する、早期発見をするための取り組みに言及してはどうか。

○住まいについて（資料3-1 計画p25）

有料老人ホームは、介護付き＝特定施設、住宅型は訪問介護等の利用であるから、単純に有料老人ホームを増やせばよいわけではないのではないかと。それなら、特定施設となる介護付きを誘致するなど具体的に書いてはどうか。神戸市の特徴的な取組である「すまいるネット」のことに、なぜ言及しないのか。

○地域リハビリテーションの推進（資料3-1 計画p9）

参加状況が19人（2022年度実績）は、少ないように思う。更なる参画の推進をお願いしたい。多職種による地域ケア会議への参画については、内容は記述してあるが、具体的な取り組みの追記をお願いする。また、参画する職種の記載も必要と思う。

○医療・介護の連携ツールの普及・推進（資料3-1 計画p17）

利用促進を図り多職種連携を図るとの内容だが、具体的な数値の記載をお願いする。加えて、定期的な実態調査も必要と考える。

○緊急時の対応（資料3-1 計画p20）

能登地震への対応を見ていると、平素から、医療、福祉、介護の関連団体と行政との連携、総合的な取り組みが必要である。是非、開設訓練には、それらを含めた訓練の企画、実施をお願いする。併せて、避難所支援、ベッドやトイレ、福祉用具などの提供についても、関連団体との協定書の締結など、速やかな対応が必要と思われる。

○リハビリ専門職によるケアマネジャーとの同行訪問（資料3-1 計画p31）

実績が記載されていないが、取り組みの有無を明らかにしてほしい。もし、実績があれば、目標値の記載をお願いする。

○介護予防推進の施策（資料3-1 第3部第1章）として、フレイルの認知率は増えており、科学的データに基づく健康事業の更なる推進に取り組むことを期待する。

○地域共生社会の実現は、社会的に大きな課題であり、多様性、地域性を配慮した支援の形の推進が必要かと思う。

○権利擁護対策（資料3-1 第3部第2章第3節）では、市民後見人養成後の活躍の場の検討が必要かと考える。

○介護人材の確保・育成（資料3-1 第3部第5章）は、様々な施策を推進しており、今後一定の成果として現れることを期待する。

○介護現場の理解促進・魅力発信（資料3-1 計画p28）

トライやるウィーク以外での新たな取り組みが必要であると考え。特に小学生を対象とした学校教育に、事業者が関われる施策が必要であると思う。

○高齢者介護士認定制度（資料3-1 計画p29）

受講者が増えるよう啓発活動の促進を求める。